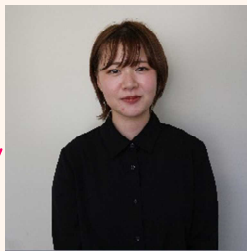


業務は計画的にこなし、メリハリのある生活を意識しています。

ライブと旅行とスノボに行く以外は基本的に家で一日中寝てます。

理財部
証券監督課

板橋 陽斗



津財務事務所
財務課

井上 舞香

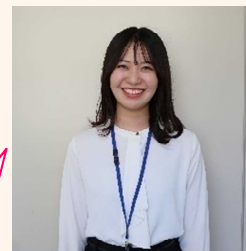


帰宅後に甘いものを食べるのが日々の楽しみになっています。

休日はドラマ・映画・ライブ鑑賞、旅行をすることが多いです。

理財部
融資課

大内 結夢



理財部
金融監督第二課

奥野 綾佳

Q. 東海財務局を選んだ決め手は？

山田： 職場訪問等を通じ、職員の人柄の良さに惹かれたのが決め手です。

井上： 職員の方々の雰囲気が良かったのが決め手です。入局してからも職場の雰囲気の良さを感じており、上司や先輩がよく気を遣ってくださるのでとても働きやすいです。

鬼塚： 説明会に参加した際に、職員の方々の雰囲気がとてもよと感じ、東海財務局を志望しました。実際に入局してみて、質問しやすい雰囲気や後輩を気にかけてくださる雰囲気を感じ、当時の直感は間違いではなかったなと思いました。

奥野： 職員の方々の雰囲気です。説明会や面接で関わるすべての職員の方が話しやすく、入局後の今も話しやすさを常に感じています。仕事内容については、財政という分野の中で様々な業務を行えるということで、専門性と多様性が併存していることに魅力を感じました。

山崎： 職員の方々の人柄がとても温かかったことです。面接の待ち時間に雑談で緊張をほぐしてくださったり、面接中も自分の中身をしっかり見つめて会話をしてくださったことがとても嬉しくて、こういう人達と一緒にならどんな仕事も乗り越えられると思って選ばせていただきました。面接がとても楽しかったことは一生忘れません！

勝野： 職員の人柄が良い、フレックスであったりテレワークであったり、公務員の中では柔軟に働けるなど総じて職場環境が良いのが大きかったです。

西川： 職員の方々から、親身になって接してくれそうな雰囲気を感じたことです。他職種の説明会にも複数参加しましたが、そこでは感じられなかった温かみを感じたことが印象的です。

大内： 業務説明会や職場訪問等で関わった職員の方々の人柄や職場の雰囲気がとても良く、このような方々と一緒に働きたいと思ったことが決め手になりました。

中神： 自分のやりたいことと財務局の業務が一番マッチしていたことと、ワークライフバランスが充実している印象があったことが決め手でした。業務は多岐にわたるため、やりたい仕事をずっとできるわけではないですが、それぞれの業務にやりがいがあると思います。また、仕事とプライベートも両立できており、ワークライフバランスも良好です。

田中： 職員の方々の雰囲気に惹かれたことが決め手です。もともと業務内容に興味はありましたが、説明会や座談会に足を運んだ際、若手職員の方々が気さくに話してくださったことが印象的でした。

八木： 職場の雰囲気がとてもよかったことです。説明会や座談会などで職員と交流する機会も多く、「ぜひ、自分も一緒に働きたい！」と思ったのが決め手となりました。

板橋： 業務範囲の幅広さと、管轄区域の幅広さです。県や市といった枠にとらわれず、国家公務員として東海地域に貢献できることに魅力を感じました。実際、県外に出ることもあり、この仕事をしていなければ出会えないような方々のお話を伺う機会もありました。また、他部署の業務について学べる機会も多く、財務局の業務の幅広さを感じています。

服部： 職員の方々の人柄の良さに魅力を感じました。説明会で職員の方々とお話する中で、アットホームな雰囲気に惹かれ、私もこのような職場で働きたいと思いました。

福島： 説明会で職場の方々の雰囲気の良さを感じたことです。また、幅広い業務に携わることができることも魅力に感じました。

林田： 幅広い業務に携わることができ、地域の活性化に様々な角度から貢献できると思ったことと、説明会時の先輩方の雰囲気がとても良かったことです。「この先輩たちと働きたいな」と思えたのが決め手になりました。

Q. これまでに印象に残っている業務は？

地域経済の調査

田中： 局長の企業視察に随行したことです。自動車や鉄鋼の製造現場を生で見ることができたほか、生産性向上やカーボンニュートラルに向けた取組みについて企業の方から直接伺うことができ、大変勉強になりました。

財政融資資金の貸付

服部： 地方公共団体を対象とする財務状況把握です。主担当として対象団体に対してヒアリングを行い、首長に診断表を交付しました。とても緊張しましたが、診断表を交付した時は達成感がありました。

大内： 財務状況把握業務において、主担当の団体を1つ持ち、事前分析から首長の方に対する診断表の交付まで、中心となり責任を持って取り組んだことです。



趣味は旅行です。夏季休暇には、オーストラリアに行ってきました。

休日は一日家で漫画を読んだり、ゴロゴロするのが好きです。

静岡財務事務所
理財課

鬼塚 貴斗



理財部
金融監督第一課

勝野 貴裕

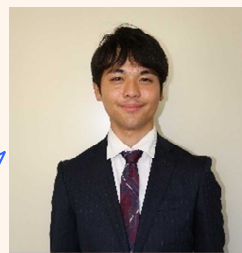


趣味は映画鑑賞です。邦画より洋画派です！

大学時代から始めたよさこいが趣味です。休日は大体踊ってます。

総務部
経済調査課

田中 健斗



岐阜財務事務所
管財課

中神 颯太

国有財産の有効活用

中神： 国有地の売払契約の業務です。土地の売買ということで金額が大きく、作業1つ1つに責任を感じる業務でした。特に現金の取り扱いをしたときはとても緊張しました。

福島： 入札物件の売払契約です。入札から契約までの流れが忙しく、初めての経験で苦労しました。しかし、この先入札事務をしていくにあたって重要な経験であったと感じています。

林田： 県内の国有地の一覧を取りまとめたものが、財務省のHPIに掲載されたことです。公表データのため、誤りが無いか確認する作業は大変でしたが、国のHPIに掲載された時の達成感は大きなものでした。

西川： 国防に関係する仕事に携われたことが印象に残っています。自衛隊の施設建替えに係る審査や、基地・駐屯地周辺に所在する財産の状況報告など、国にとって重要な業務に取り組むことができ、身の引き締まる思いで仕事ことができました。

地域金融機関の検査・監督

鬼塚： ヒアリング業務です。金融機関の職員に対して、アポ取りから質問の用意、メモの作成まで一人で行いました。知識も経験も自分より豊富な方に対して、しっかりと対話ができるよう、事前準備を入念に行った結果、興味深く勉強になるお話を聞くことができました。自分でもしっかりと準備を行えばできるのだと自信につながりました。

奥野： 金融機関の理事長とのヒアリングへの同席です。理事長から将来のビジョンなどを聞くことができ、大変貴重な経験になりました。また、金融機関の部長への電話によるヒアリングも印象に残っています。金融機関の顧客である事業者についてお話を伺い、事業者の状況について大変理解が深まりました。

勝野： 営業店対話です。経営陣の行っている施策が、現場（支店）でどのように捉えられているかをヒアリングし、現場の意見をまた本部に還元するという内容で、監督業務としての仕事をしている感がありました。

山崎： 金融機関から電話で届出の照会が来た時に、自分で法律や監督指針等を漁りまくって準備した回答が上司に一発OKをもらったことと、検査業務で自分の担当部分をメインでヒアリングさせていただいたことです。業務の責任感ややりがいと、自分の改善点をいつも以上に感じて、大変勉強になりました。

Q. 今後の仕事の目標は？

八木： 財務局は業務の幅が広いので、その業務についても積極的に学び、様々な場面で頼られるような先輩・上司になれたらと思います。

井上： 質問や相談をしやすく話しかけやすい職員になりたいです。質問に答えられるよう業務に関する知見を深めていきたいと思っています。

山田： 頼られる先輩・上司になれるよう頑張ります！！

板橋： より良い組織となれるよう、後輩・部下を育成・指導できるようになりたいです。自分が今、先輩や上司から良い指導を受けていると感じているため、自分が学んだこと・経験したことを踏まえて、自分が今受けている以上のものを、還元していければと思います。

勝野： 専門的な知識を身に着けたうえで、地方公共団体や金融機関の取組みを支えていけるようになりたいです。

大内： 一緒に仕事をしたいと思ってもらえるような、頼れる先輩・上司になりたいと思っています。そのため、質問や相談をしやすいう、コミュニケーションをとることを大切にしたいと思います。

林田： 些細なことでも相談しやすい、頼りがいのある先輩・上司になり、「困ったときはあいつだ。」と思われたいです。





趣味は旅行とゲームですが、季節でココロ変わります。

休日はカフェ巡りや旅行をしてリフレッシュしています！

管財部
管財総括第二課
西川 大喜



岐阜財務事務所
財務課
服部 瑠希



休日は野球観戦を楽しんだり、サウナで整ったりしています！

趣味は旅行と手芸です。これからいろいろな場所に行きたいです。

津財務事務所
管財課
林田 和真



管財部
統括国有財産管理官(1)
福島 杏樹

Q. 入局前に思っていたイメージと異なるところは？

財務専門官の業務

八木： 1年目から責任の大きい業務を1人で任されているところです。決算に関する報告では、準備段階から1人でいい、大変なところもありますが、困ったことがあればすぐ上司に相談し勉強させていただいています。

西川： 課内の1戦力として様々な仕事を任されていることです。1年目は見習いとして、上司の仕事ぶりを見て学ぶことがメインになってくるのかなと思っていましたが、実際はやって学ぶことが多く、今では自分で考えて自分から仕事をできるようになっています。

田中： 1年目でも責任ある業務を任されることです。上司・先輩と並んで自分の担当項目を持ったり、企業に1人で訪問してヒアリングを実施したりしています。分からないことや戸惑うことも少なくありませんが、責任と裁量のある仕事にやりがいを感じています。

大内： 1年目から予想以上に責任のある業務を任されることです。最初は分からないことが多く大変ですが、自分で粘り強く調べたうえで周りの方に聞くことで知識を習得できるため、自身の成長を感じられます。

勝野： 専門職とつくのでスペシャリストのイメージがありましたが、融資、管財、金融と範囲も広いこともあり、経済分野に携わる公務員として、ゼネラルに働いていると強く感じました。

鬼塚： 官公庁はペーパーワークが多いと思っていたので、意外と電子化が進んでいることに驚きました。業務内容によって電子化の進み具合は違うとは思いますが、私が行っている業務は、ほぼすべてが電子上で完結します。もちろん好みによっては紙に印刷して業務を行うこともできるので、必要に応じて電子か紙かを選べるのはうれしい予想外でした。

林田： 課を跨いだ横のつながりがあることです。主担当業務以外の研修やヒアリングなどにも積極的に参加でき、自分の見識を広げることができます。

奥野： 各種プロジェクトで所属課以外の職員の方と関われる機会があることに驚きました。

出張機会

井上： 意外と外に出る機会が多いことです。財務課配属のためデスクワークが中心かと思っていましたが、所長随同行のヒアリングで市長や町長にお会いしたり、実地監査や財務状況把握ヒアリングのための出張など、外に出る機会が度々あります。組織外の方との対話では、財務局とは異なる目線からの意見を聞くことができ大変勉強になります。

服部： デスクワークがほとんどだと思っていましたが、地方公共団体や企業の方との対話の機会も多く出張もあります。現場の声を聴くことができる貴重な機会であり、いつも勉強させていただいています。

研修・出向

奥野： 研修や出向の制度を活用すれば、この地域や国にとどまらないような多様な業務に挑戦できる環境が整えられているところにギャップを感じました。

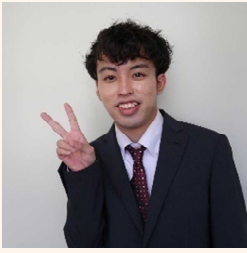
福島： 研修制度が充実しているところです。入局前は業務に不安を感じていましたが、入局直後の2か月間の中央研修の他にも、課ごとの研修や文書に関する研修など様々な研修が充実していて、知識を身につける機会に恵まれていると感じます。

ワークライフバランス

板橋： テレワークや年次休暇、フレックスタイムといった制度を、積極的に活用していこうという雰囲気があったことです。無駄な残業を良しとせず、効率的に業務をこなしていこうという風潮があります。職員一人一人の多様な働き方が尊重され、仕事も私生活も充実させることのできる土壤があると感じています。

中神： テレワークやフレックスタイム制を活用している人が想像以上に多かったことです。今所属している課では、全体のうち半分ほどがフレックスタイム制で勤務時間を変更しており、またテレワークも積極的に活用されています。

奥野： 休暇についても説明会で聞いていたとおり取りやすく、今年は長期の夏季休暇を本当にとれるのか疑っていたため旅行の予定を立てていなかったのですが、本当に長期でとれると分かったので来年は海外旅行に行きたいと思っています。



ランニングと筋トレを日課にしており、体を鍛えています！！

旅行とスイーツビュッフェと毎日のゲームが命の水です。

静岡財務事務所
管財課

八木 柗太



岐阜財務事務所
理財課

山崎 加奈恵

旅行先のご飯選びでは決して妥協はしません。



管財部
統括国有財産管理官（2）

山田 諒也

Q. 職場の雰囲気は？

山田： 役人は堅いという印象がありましたが、気さくな方が多くびっくりしました。

板橋： 説明会等に参加したときから感じていましたが、人として完成している方が多いなと感じています。また、分からないことは聞きやすく、案件に関する議論も活発に行われています。執務室も広くて綺麗であり、快適に仕事ができる居心地の良い職場環境が整っています。

八木： どの課でも説明会や座談会で感じた雰囲気と逆に驚きました。とても優しい方が多く、どんなことでも親身になって相談に乗ってくれます。

田中： メリハリのある雰囲気です。業務時間中は個々の事務に集中していることもあれば、何気ないことで談笑していることもあります。また、働き方の面でも、繁忙期はしっかり業務に取り組む一方、閑散期には休暇を取得しやすい雰囲気があるなど、メリハリを感じます。

服部： アットホームな雰囲気です。分からないことも相談しやすいです。また、フレックスやテレワークを活用している方が多く、年次休暇も取りやすいのでとても働きやすい環境です。

林田： 非常に風通しが良く、議論も活発に行われ、和気あいあいとした職場です。分からないことも聞きやすく、何気ないことでも相談しやすい雰囲気です。

福島： 職場の方々は、知識や経験豊富な優しい方で、業務について熱心に教えてくださいます。年次休暇やフレックスタイムを取りやすく、働きやすい環境であると思います。

山崎： 想像していたよりも職場が賑やかで、皆さん仲良く仕事されています。朝、職場で自分の席に座って仕事を始めると、やっぱりめっちゃ居心地がいいなっていう感じがします。

奥野： フレックスタイムやテレワークを利用している方が多く、とても働きやすい職場だと感じています。また、上の年代の方も接しやすい雰囲気です。国家公務員ということでお堅いイメージがありましたが、実際はフランクに話しかけてくれ、業務のことも業務以外のことも話せるようなアットホームな職場だと日々感じます。

Q. 受験生に向けて メッセージやアドバイスをお願いします！

井上： メンタル面を安定させるためにも睡眠はしっかりとってください。試験日が近づくと焦るとは思いますが、不安にならない人のほうが少ないです。ここまで来たら自分を信じるしかないので頑張ってください！

中神： 筆記対策も大切ですが、面接対策もそれと同じかもしくはそれ以上に大切だと感じました。2つのバランスを大事にしつつ、心身のリフレッシュも心掛けて、納得のいく受験になるようにしてください。

鬼塚： 財務専門官は様々な分野の業務を経験できる仕事なので、やりがいを持って働くことができると思います！公務員試験は長丁場なので大変だとは思いますが、体調に気を付けて悔いのないように頑張ってください！

奥野： 民間企業と比べると選考時期が遅く、試験科目も多いため、焦りや不安が尽きないと思いますが、受験生時代、結局は勉強を続けることが一番の解決策かなと思いました。自分を追い詰めすぎず、最後まで粘り強く頑張ってください！みなさんと一緒に働けることを楽しみにしております！

山崎： すごく将来が不安になったり、うまくいなくて焦りを感じたりすることがたくさんあると思いますが、毎日を過ごしていれば、いつかは何らかのゴールにたどり着いている自分があります。就活の辛い日々が終わって、笑って過ごしている自分の自分を想像して、今だけは勉強を頑張るぞ！という感じで、最後まで乗り切ってください！！

勝野： 試験勉強は大変だと思いますが、休憩時間にでも自分が何がしたいかをよく考えると勉強のモチベーションにつながったりするのかと思います。

西川： 普段の学生生活に加えて、筆記試験と面接試験に挑むことは精神的に重荷になると思いますが、きつと感じたら手を抜くことも時には大事です。最後まで健康に走り抜けましょう。

大内： 筆記試験や面接等、大変なことや不安になることも多いかと思いますが、東海財務局の職員として働きたいという気持ちや取り組みたい業務への思いを大切に、最後まで頑張ってください。皆さまと一緒に働けることを楽しみにしています。